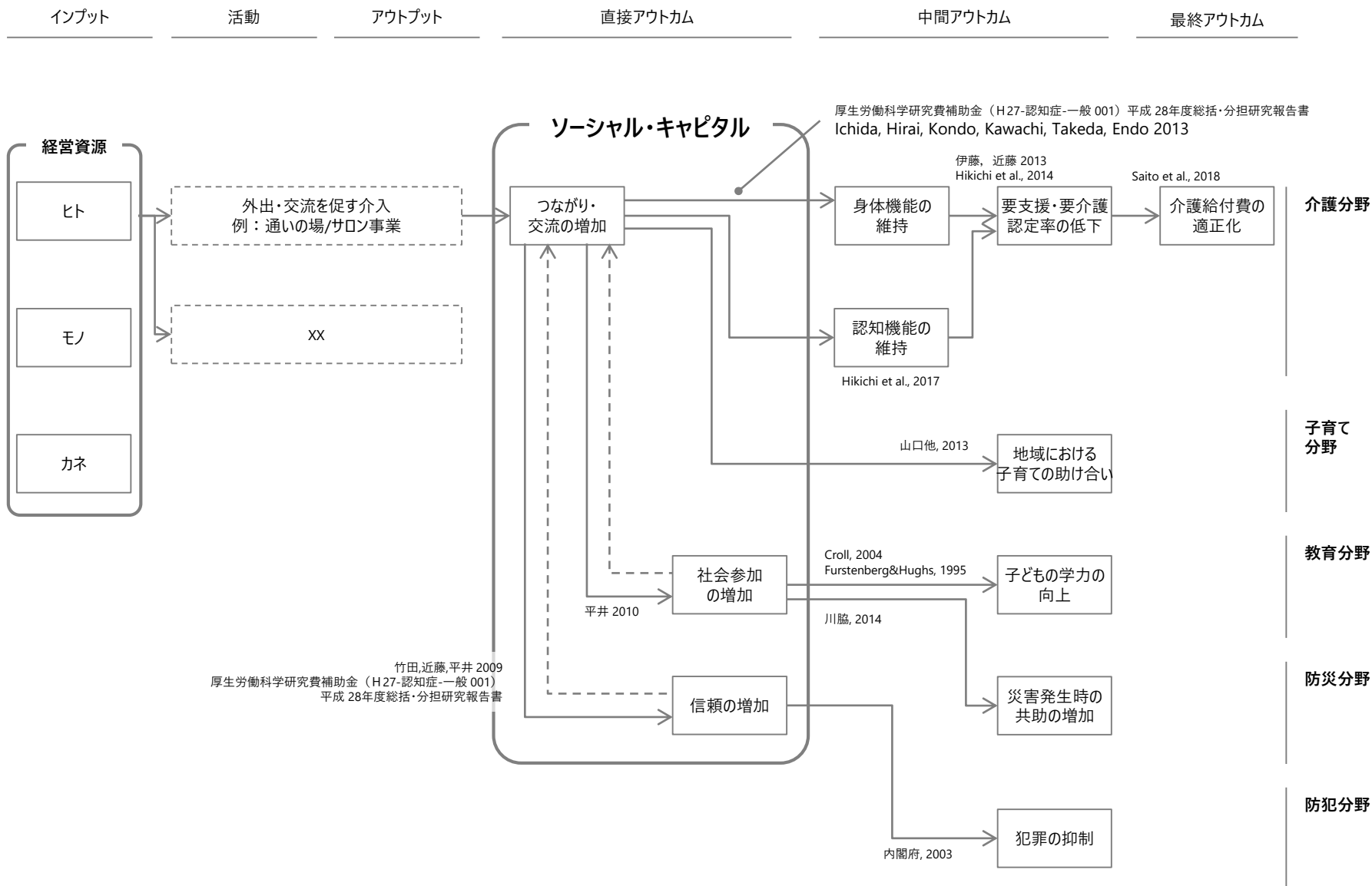


ロジックモデル案



社会関係資本

- パットナムによると、「人々の協調行動を活発にすることによって、社会の効率性を高めることのできる、「信頼」「規範」「ネットワーク」といった社会的仕組みの特徴」としています（Putnam,1993）。
- 社会関係資本（ソーシャル・キャピタル）の定義は研究によって様々ですが、構成要素としては、「信頼」、「互酬性の規範」、「ネットワーク」が含まれます（稲葉他, 2011）。

例：内閣府のソーシャルキャピタル測定尺度

構成要素	調査項目	質問項目
つきあい・交流 (ネットワーク)	近隣でのつきあい	<ul style="list-style-type: none"> • 隣近所とのつきあいの程度 • 隣近所とつきあっている人の数
	社会的な交流	<ul style="list-style-type: none"> • 友人・知人とのつきあいの頻度 • 親戚とのつきあいの頻度 • スポーツ・趣味・娯楽活動への参加状況
信頼 (社会的信頼)	一般的な信頼	<ul style="list-style-type: none"> • 一般的な人への信頼
	相互信頼・相互扶助	<ul style="list-style-type: none"> • 近所の人々への信頼度 • 友人・知人への信頼度 • 親戚への信頼度
社会参加 (互酬性の規範)	社会活動への参加	<ul style="list-style-type: none"> • 地縁的な活動への参加状況 • ボランティア活動への参加状況 • 人口一人当たりの共同募金額

出所：内閣府（2003）「ソーシャル・キャピタル：豊かな人間関係と市民活動の好循環を求めて」

内閣府では、社会関係資本を「ネットワーク」「信頼」「互酬性の規範」といった社会組織の特徴であり、共通の目的に向かって協調行動を導くもの。いわば、信頼に裏打ちされた社会的な繋がりあるいは豊かな人間関係を指す。」としています。